

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	KID ACADEMY PURE ふじみ野校		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 22日		2024年 12月 2日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	2024年 12月 3日		2024年 12月 6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができている	保護者の相談や困っていることに関して、連絡帳や電話連絡等で迅速な対応に努めている	日々の変化に対応するために、職員間で常に情報共有をして迅速にアドバイス等が出来るようにしていく
2	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援を行っている	毎日の職員ミーティングの中で、日々変化している子どもの状況を確認し共有することで適切な支援に結び付いている	今後の個別支援計画は、ひとりひとりに特化したオーダーメイド支援になるよう考えていく
3	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会を定期的に設けている	・子どもとの関わり方 ・愛着形成、感覚統合 ・指先運動、空間認知 ・ワーキングメモリ ・自己コントロール 等、様々な職員に対する研修を定期的に行っている	職員の知識が増えていくことで、全従業員が子どもの発達状況に合わせて支援内容を統一することができる

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	現場の急な事情等で職員体制が取れなくなる点	現場の事情で予定より職員が減っても、十分な配置である状況が望ましい	職員体制については、会社全体で改善に向けて求人強化する等、早急に対応していくことが必要
2	毎月のプログラムが似たような内容が多くなってしまっている	職員の人員配置が十分でない場合は、現場の安全を第一に考えるため、プログラム内容に偏りが発生してしまうことが多かった	今後、活動内容の偏りがないようにするために保護者や子供たちに意見を聞いたりする機会を設けていく
3	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会が少なかった	定期的な他校との交流やイベントは行っていますが、全体に対する周知が不足していた	今後は、毎月のプログラムへの記載の工夫や保護者会等を通じてわかりやすく発信していく